

～南部盛岡の初夏を彩る伝統行事～

チャグチャグ馬コ

チャグチャグと鈴の音を響かせて、色鮮やかな装束で着飾った約70頭の農用馬が、滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡市の盛岡八幡宮までの約14kmの道のりをおよそ4時間かけて行進する伝統行事「チャグチャグ馬コ(うまっこ)」。

岩手県は全国有数の馬産地として名を馳せ、南部曲り家の茅葺き屋根の下で家族の一員として「馬コ(うまっこ)」を大事に扱ってきました。「馬」にちなんだ端午の節句に馬の守り神である「鬼越蒼前神社」へお参りをする「お蒼前参り(オソデマイリ)」をして、農耕に疲れた愛馬の無病息災を祈ったのが、チャグチャグ馬コの起源です。

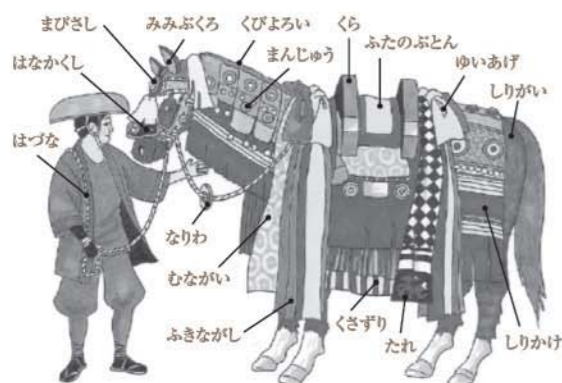
その始まりは明らかではありませんが、寛政の頃になると、南部侯が参勤交代の大名行列に従った「小荷駄装束(こにだしょうぞく)」を身に着けた馬を曳いてお参りする者が現れ、たちまち流行を来したと言われており、時代の変遷を経ながら、現在の色鮮やかな装束に繋がっています。

昭和5年、馬好きで知られていた秩父宮殿下が「お蒼前参り」の時期に御来県した際、盛岡八幡宮まで足を延ばし、神前馬場で馬ぞろいをお見せしたのが、今のチャグチャグ馬コ行進の由来となっており、世界的にも類を見ない農用馬のパレードは、文化庁の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されているほか、チャグチャグという鈴の音は環境省の「残したい日本の音風景100選」に選定されています。



チャグチャグ馬コの装束

大小異なる鈴は700個以上とも言われています。各家庭ごとに装束が異なり、一つ一つ手づくりで仕上げられています。



乗り手の姿



出馬者のご家族などが馬に乗り、沿道へ手を振る姿が見られます。

中には心地よい揺れで眠ってしまう子どもたちの可愛い姿もあり、観客に見守られながら盛岡八幡宮へ向かっていきます。

南部盛岡

チャグチャグ馬コ

CHAGUCHAGU UMAKKO FESTIVAL

令和8年 6月13日 土

馬コが彩る
みちのくの初夏

記録作成等の措置を講ずべき
無形の民俗文化財
「チャグチャグ馬コ(うまっこ)」

パレードの予定

9:30	滝沢市 鬼越蒼前神社
10:05	滝沢市役所前
13:10	盛岡駅前
13:40	中の橋
13:55	盛岡八幡宮

全農 JA全農いわて

まえむきに
ひたむきに
純情産地
いわて

<https://www.junjo.jp/>

JA全農いわて 検索



